

【競技上の注意】

審判長 澤井美由貴

- 1 選手は、必ず令和4年度日本卓球協会のゼッケンをつける。
- 2 ルールは、現行の日本卓球ルールを適用する。
- 3 ユニフォームはチームでそろえること。そろわない場合は審判長に届けて許可を得ること。
- 4 タイムアウト制は適用しない。
- 5 ベンチに入れるのは、登録された監督1名、アドバイザー1名、選手（8名以内）とする。
選手・監督・アドバイザーは日本卓球協会登録者であること。監督・アドバイザーは名札をつけること。
- 6 予選リーグは5番まで、決勝トーナメントは3点先取で行う。
- 7 予選リーグを行い、1、2位のチームが決勝トーナメントに、他のチームは3、4位トーナメントに進む。トーナメントで初戦敗退のチームは交流戦を1試合行う。
- 8 1試合目のオーダー用紙は、監督会議終了後すぐに提出してください。その後は、放送などで指示します。
- 9 審判は、相互審判で行う。ただし、4～5台使用する場合は空いているチームに頼む場合がある。
- 10 試合中のアドバイスは、登録されている監督、アドバイザー、選手に限る。アドバイスは決められた時間に行うこと。コート外からのアドバイス（指示、ゼスチャーなども含む）は、一切禁止する。
- 11 ラケット交換では、相手のラケットに触れずに見せ合うこと。
- 12 他の人の体に直接触れる行為（握手やハイタッチなど）はしないこと。卓球台で手を拭く、シューズの裏を手で触る行為はしないこと。
- 13 ベンチでは選手は座って応援すること。応援は拍手のみとする。
- 14 メンバー変更は開始式までに審判長の許可を得る。チーム間の入れ替えは認めない。

【会場使用上の注意】

- 1 監督・引率者は会場内でマスクを着用してください。選手は自分が試合をしていないときは、マスクを着用すること。
- 2 ゴミは各自で持ち帰る。（ティッシュなどはビニール袋に密閉して下さい。）
- 3 こまめな手洗いと消毒をすること。
- 4 昼食は2階のスタンドでとること。向かい合っただけの食事はしないこと。自分が持参した物のみを食べる。
- 5 競技フロアには大体育室内の階段を通過して移動すること。
- 6 貴重品は各学校の責任において管理する。
- 7 必要のない施設に立ち入ったり、触ったりしない。スタンドにある電源を使用しない。
- 8 大声での会話は避け、スタンドでは密集しないようにすること。

全国大会 令和5年3月25日（土）～26日（日）宮城県

セキスイハイムスーパーアリーナ

中国大会 令和5年2月4日（土）～5日（日）山陽小野田市民体育館